

# 全国 ESD コンソーシアム/ステークホルダー円卓会議 2025 開催要項

国立大学法人 奈良国立大学機構  
奈良教育大学 ESD・SDGs センター

## 1. 趣旨

2021年5月に「持続可能な開発のための教育に関する関係省庁連絡会議」において策定された「我が国における『持続可能な開発のための教育（ESD）』に関する実施計画（第2期 ESD 国内実施計画）」には、その基本的考え方として、「各領域で育ってきたネットワークの間をつなぐネットワークの重層化を促進する」と明記されている。この実現には、ESD に取り組む多様なステークホルダーとの広範な連携による協働的な ESD の推進体制の構築が不可欠である。

奈良教育大学では、その中核的な役割を果たすべく、ESD/SDGs のナショナルセンターをめざし、2022年4月に「ESD・SDGs センター」を設立した。その第一歩として当センターでは、2023年2月に各地域で活動する ESD コンソーシアムや全国レベルで活動する ESD 関連団体を招聘して交流を促進する「全国 ESD コンソーシアム/ステークホルダー交流会 2023」を開催した。また、2024年2月には、ESD の国際的な連携や協働のネットワークを形成すべく、ユネスコ本部や国内外のユネスコ及び ESD の関係の機関や専門家を招聘して「ESD 国際シンポジウム in 奈良 2024」を開催した。

これらの取組を踏まえ、2025年2月に「全国 ESD コンソーシアム/ステークホルダー円卓会議 2025」を開催し、多様な主体が参画する重層的なネットワークの形成を通じて、これまでの ESD の取組をさらに発展させ、SDGs の達成に資する ESD（ESD for 2030）のより一層の促進に向けた全国的な ESD プラットフォームの構築をめざす。

## 2. 目的

- ① 全国各地で地域に根差して活動する ESD コンソーシアム間の交流を通して、それぞれの取組の成果と課題を共有し今後の活動に生かすとともに、コンソーシアム相互の連携・協働を促進し、より広がり一体感のある ESD 推進するための ESD ネットワークの形成を図る。
- ② 全国的に ESD/SDGs に取り組む政府や学術団体、国際機関、NGO/NPO 等の ESD 関係機関や団体等が情報を共有するとともに、それぞれ取組の実績や強みを生かして相互に連携を図ることで、マルチステークホルダーによる全国的 ESD プラットフォームを構築する。
- ③ 全国の多様な主体の参画と協働による ESD を加速するため、地域を越えたコンソーシアム及び全国のステークホルダーによる「協働的な ESD」の取組を開始する。

3. 主催 国立大学法人 奈良国立大学機構 奈良教育大学 ESD・SDGs センター

4. 開催日時 2025年2月22日（土） 9時30分～17時00分

5. 会場 奈良教育大学 管理棟大会議室（ハイブリッド開催）

## 6. プログラム及び日程

- 9：30 **開会行事**（15分） 全体進行）奈良教育大学 赤沢 早人
- ① 開会の挨拶 国立大学法人 奈良国立大学機構 理事長 榊 裕之
  - ② 趣旨説明 奈良教育大学 ESD・SDGs センター 及川 幸彦

### 【第1部】ESD コンソーシアム円卓会議

「地域に根差した ESD for 2030 の推進に向けた地域コンソーシアム間の連携の構築」

- 9：45 『ESD コンソーシアム・ショーケース（事例発表）』（90分）  
・各コンソーシアムからの発表（各発表10分以内×9コンソーシアム）

#### 《参加 ESD コンソーシアム》

- i. ESD/ユネスコスクール・東北コンソーシアム
- ii. 信州 ESD コンソーシアム
- iii. 北陸 ESD 推進コンソーシアム
- iv. 横浜市 ESD 推進コンソーシアム
- v. ESD・国際化ふじのくにコンソーシアム
- vi. 岡山 ESD 推進協議会
- vii. 広島 SDGs コンソーシアム（オンライン参加）
- viii. 新居浜 ESD コンソーシアム
- ix. 近畿 ESD コンソーシアム

11：15 <休憩 15分>

- 11：30 『文部科学省講演』（20分）  
「ESD の推進にかかる文部科学省の取組について」  
○講師 文部科学省国際統括官付 国際戦略企画官 本村 宏明 氏

- 11：50 『ESD コンソーシアム・ラウンドテーブルミーティング（円卓会議）』（50分）  
コーディネーター）奈良教育大学 中澤 静男
- ① 質疑応答と情報共有：コンソーシアムの成果と課題、文部科学省の ESD 施策について
  - ② 今後の ESD コンソーシアム間の連携・協働について（北陸コンソーシアムから提案等）

- 12：40 <昼食・休憩>（50分）
- \*コンソーシアム・ステークホルダー間の交流（情報交換・懇談等）
  - \*座席移動（コンソーシアムとステークホルダーの座席入れ替え）

【第2部】ESD ステークホルダー円卓会議 全体進行) 奈良教育大学 竹村 謙司  
「SDGs for 2030 の推進に向けた重層的な ESD プラットフォームの構築」

13:30 『環境省講演』(20分)

「環境教育・ESD の最新動向等について」

○講師 環境省大臣官房 環境教育推進室 室長 黒部 一隆 氏

13:50 『ESD ステークホルダー・ショーケース (取組紹介)』(85分)

・各ステークホルダーからの報告 (各報告 10 分以内×7 団体+コメント)

≪招聘 ESD ステークホルダー≫

- i. 文部科学省国際統括官付 国際戦略企画官 本村 宏明 氏 ※講演者
- ii. 環境省大臣官房 環境教育推進室 室長 黒部 一隆 氏 ※講演者
- iii. 日本ユネスコ協会連盟 理事 安田 昌則 氏
- iv. ユネスコ・アジア文化センター 教育部長 大安 喜一 氏
- v. 日本 ESD 学会 副会長 岩本 涉 氏
- vi. 持続可能な開発のための教育推進会議 (ESD-J) 代表理事 鈴木 克徳 氏
- vii. ESD 活動支援センター センター長 阿部 治 氏
- viii. 次世代ユネスコ国内委員会 委員長 小林 真緒子 氏
- ix. ユネスコスクール支援大学間ネットワーク (ASPUnivNet) 運営委員長 及川 幸彦

15:15 <休憩 (15分) >

15:30 『ESD ステークホルダー・ラウンドテーブルミーティング (円卓会議)』(40分)

コーディネーター) 奈良教育大学 及川 幸彦

- ① 質疑応答と情報共有: 各団体の取組の強みと課題、今後の展望に関する質疑応答
- ② ESD の推進上の諸課題の解決に向けたステークホルダー間の連携と協働について

16:10 『総合討論』(40分)

- ① 世代間や民間との連携について (ユネスコクラブや次世代国内委員会、ユ協等)
- ② コンソーシアムとステークホルダーの連携・協働による ESD プラットフォームの構築
- ③ 総括

16:50 閉会行事 (10分)

- ① 閉会の挨拶 国立大学法人 奈良国立大学機構 奈良教育大学 学長 宮下 俊也
- ② 事務連絡等

17:00 閉会